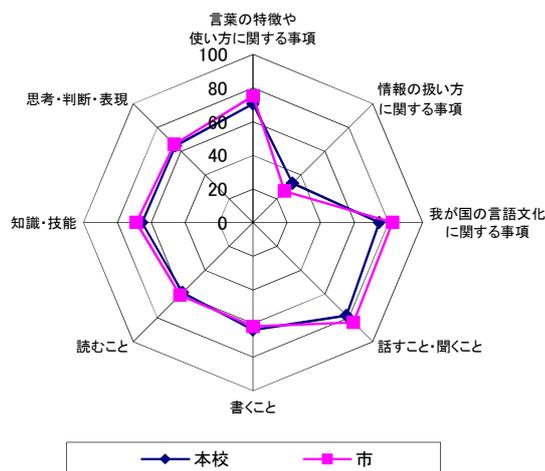


宇都宮市立清原東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.6	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	33.0	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	74.5	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	78.0	83.9	84.2
	書くこと	63.8	61.7	64.5
	読むこと	58.9	60.9	61.0
観点別	知識・技能	65.5	68.8	70.3
	思考・判断・表現	64.7	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

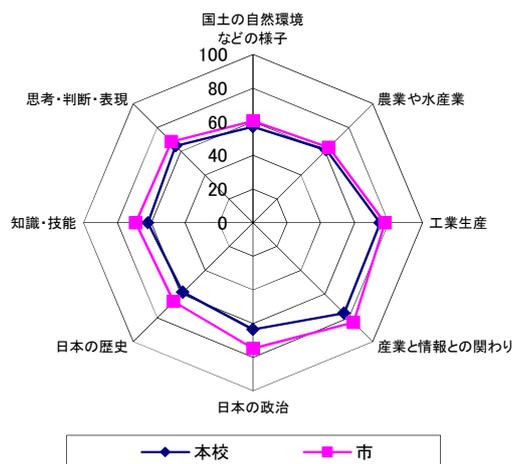
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。 ○第5学年に配当されている漢字の書き取りに課題が見られる。 ●文と文の接続の関係について問う設問では、市の平均より7.0ポイント下回っている。	・漢字の書き取りが身に付いていない児童もおり、定着に課題が見られる。文章を書く中で、既習の漢字を意識して使わせるようにする。 ・2つの文を繋げる言葉を探す活動を行い、前後の文脈から接続詞の意味が定着するよう指導する。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、市の平均正答率より高い。 ○情報と情報の関係について理解し、文章の情報を整理する設問では、市の平均より1.9ポイント上回っている。 ○情報と情報の関係について理解し、目的に応じて文章を簡単に書く問題では、市の平均より11.0ポイント上回っている。	・長文読解などを通して、与えられた情報の中から自分に必要なものを選び取ることが身に付いてきている。 ・文章の要点をまとめる練習をしたり、複数の情報をまとめる学習を取り入れて定着を図る。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均正答率より低い。 ●和語、漢語、外来語についての知識を問う設問では、市の平均より7.9ポイント下回っている。	・日常生活の中の和語、漢語、外来語を探したり、分類したりすることによって、3つの言葉の違いが定着するよう指導していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均正答率より低い。 ●自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉える設問では、市の平均より8.7ポイント下回っている。	・授業で話合いの内容や友達のスピーチを聞き取ることを通し、自分の聞きたい内容を明確にする力を育てる。
書くこと	平均正答率は、市の平均正答率よりやや高い。 ○自分の意見とその理由を明確にして書く設問では、市の平均より2.9ポイント上回っている。 ●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く設問では、市の平均より9.4ポイント下回っている。	・話合い活動において、自分の意見をはっきりさせて主張したり、それぞれの立場に分かれて議論したりさせる。 ・自分の考えをもとに、段落を意識して文章を書くよう指導を続ける。また、お互いの意見を尊重し合いながら、自由に文章を書く活動に取り組み、文章への抵抗感をなくすようにしていく。
読むこと	平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。 ○情報と情報の関係について理解し、文章の情報を整理する設問では、市の平均より1.9ポイント上回っている。 ●文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる設問では、市の平均より17ポイント下回っている。	・与えられた情報の中から自分に必要なものを選び取り、他の人と話し合ったり共有したりして意見や感想を広げる活動を多く取り入れる。

宇都宮市立清原東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	57.1	60.5	65.8
	農業や水産業	61.1	63.3	66.0
	工業生産	75.0	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	76.0	83.8	76.6
	日本の政治	63.5	74.9	74.1
	日本の歴史	58.6	66.3	68.3
観点別	知識・技能	62.0	69.3	71.4
	思考・判断・表現	64.6	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

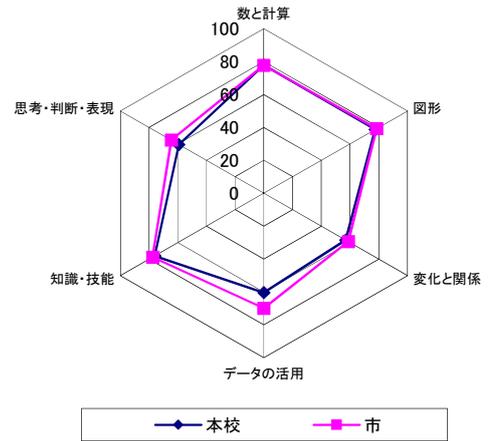
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は市の平均正答率よりやや低い。 ○公害についての理解を問う設問では、市の平均より7.2ポイント上回っている。 ●日本の周辺の海洋名についての理解を問う設問では、市の平均より9.7ポイント下回っている。 ●森林を守るための間伐についての理解を問う設問では、市の平均を7.7ポイント下回っている。	・基礎的な事項については補充プリントなどで定着を図る。また、世界地図や日本地図などを掲示して、児童が資料を目にする機会を増やす。
農業や水産業	平均正答率は市の平均正答率よりやや低い。 ●米の品質を高める工夫についての理解を問う設問では、市の平均を5.1ポイント下回った。	・これからも、都道府県ごとの特色および地図の読み取りについて繰り返し学習していく。
工業生産	平均正答率は市の平均正答率よりやや低い。 ●自動車の製造工程についての理解を問う設問では、市の平均を4.8ポイント下回った。	・地図帳や資料集、またはタブレット端末をなど使い、動画や写真を見て、自動車工場の製造工程や大工場と中小工場についての理解を高められるようにする。
産業と情報との関わり	平均正答率は市の平均正答率より低い。 ●産業における情報活用の現状について考える問題では、市の平均を12.3ポイント下回っている。	・情報化社会の中で、それぞれの産業で情報がどのように活用されているか、資料を読み取る中で具体的に押さえていく。
日本の政治	平均正答率は市の平均正答率より低い。 ●平和主義の基本的な考え方についての理解を問う設問では、市の平均を10.3ポイント下回った。 ●租税の役割について、資料を読み取る問題では、市の平均を17.3ポイント下回っている。 ●議会政治について、資料をもとに考え、表現する問題では、市の平均を11.3ポイント下回っている。	・基本的な用語を確実に覚えるようにしていき、資料から分かったことを表現するように学習していく。
日本の歴史	平均正答率は市の平均正答率より低い。 ●天皇中心の政治や日本風文化が生まれた頃の様子についての理解を問う設問では、市の平均を15.8ポイント下回っている。 ●鎌倉幕府の政治についての理解を問う問題では、市の平均を16.1ポイント下回っている。 ●雪舟についての理解を問う設問では、市の平均を16.1ポイント下回っている。	・資料集や教科書の一覧などを使用して、時代ごとに出来事や学習すべき語句になどついて押さえて覚えさせるようにする。

宇都宮市立清原東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.8	77.7	78.6
	図形	77.5	78.4	74.4
	変化と関係	56.9	58.7	53.0
	データの活用	60.4	69.9	57.2
観点別	知識・技能	76.1	77.5	74.0
	思考・判断・表現	59.2	64.5	58.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

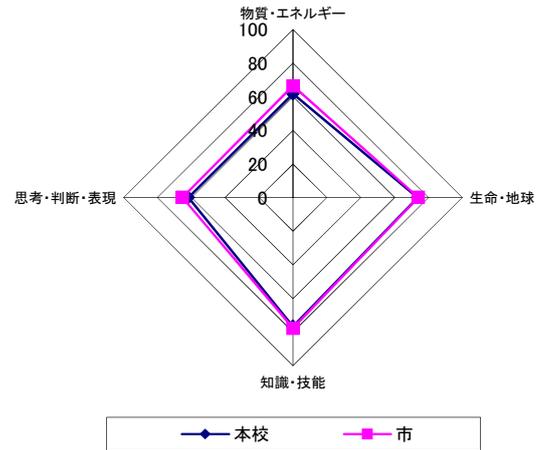
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○小数や分数の計算は、市の平均正答率よりやや高い。</p> <p>●基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求める問題や小数の乗法の文章問題を表した図の構造を捉える問題は市の平均正答率を下回っている。</p>	<p>・基本的な計算練習を継続するとともに、文字を使った式が表す場面を考えたり、文字を使った立式の練習をしたりすることに重点を置く。</p> <p>・問題解決をするときの手段として、各学年の授業で、図をかいたり数直線を用いたりして数量関係を視覚的に捉えて考え、立式できるように指導する。</p>
図形	<p>平均正答率は、市の平均正答率より低い。</p> <p>○半径が与えられた円の面積を求める式を選ぶ問題や合同な三角形を作図する問題は、市の平均正答率より高い。</p> <p>●ひし形の面積を求める式を選ぶ問題は、市の平均正答率より低い。</p> <p>●2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める問題は、市の平均正答率より低い。</p> <p>●図に示された正多角形の内角の和の求め方を説明する問題や求め方を表す式を選ぶ問題は、市の平均正答率より低い。</p>	<p>・図形の面積や体積を求める公式など、各学年で学習する内容を確実に身に付けられるように、繰り返し指導する。</p> <p>・図に示された正多角形の内角の和の求め方を説明する問題や求め方を表す式を選ぶ練習問題に重点を置いて指導し、今後も自分の考えを書く活動と伝える活動を多く取り入れ、筋道を立てて説明する力を育てる。</p>
変化と関係	<p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○速さの単位の関係を理解し、時速を秒速や分速に直す問題は、市の平均正答率より高い。</p> <p>●百分率について理解し、割引後の値段を求める式を選ぶ問題は、市の平均正答率より低い。</p>	<p>・朝の学習や家庭学習などで繰り返し学習し、定着を図る。授業でも、百分率を求めたり、割引後の値段を求める練習問題に重点を置いて指導する。</p>
データの活用	<p>平均正答率は、市の平均正答率より低い。</p> <p>●表から平均を求める問題や平均から全体の量を推測する問題は、市の平均正答率より低い。</p> <p>●ドットプロットから最頻値と中央値を読み取る問題、度数分布表を完成させる問題、ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がいちばん多いわけではないことを説明する問題など、市の平均正答率より低い。</p>	<p>・ドットプロットから最頻値と中央値を読み取る問題、度数分布表を完成させる問題、ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がいちばん多いわけではないことを説明する問題に重点を置いて指導する。</p> <p>・今後も自分の考えを書く活動と伝える活動を多く取り入れ、筋道を立てて説明する力を育てる。また、学年に応じた説明の言葉の指導も取り入れる。</p>

宇都宮市立清原東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	61.8	66.5	66.3
	生命・地球	73.6	74.0	72.6
観点別	知識・技能	76.6	77.6	78.2
	思考・判断・表現	61.8	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。</p> <p>○「物のとけ方」の、正しい手順の操作についての設問で、正答率が8割近くであった。</p> <p>●「ふりこのきまり」の設問では、ふれはばを変えても振り子の周期は変わらないことについての理解が不十分であり、市の平均正答率より13.7ポイント下回った。</p>	<p>・進んで実験や観察に取り組むことができるので、実験や観察の目的を明確にし、予想を立てたり、結果を見通したり、考察を深めたりする力を伸ばしていく。</p> <p>・一人一台端末を活用してドリル学習に取り組ませる等、繰り返し学習を行わせることで、基礎・基本の着実な定着を図っていく。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○「植物のつくりとはたらき」の設問で、市の平均正答率より高いものが見られた。</p> <p>●「生物とかんきょう」の、アメリカザリガニが水草を切ることによる影響を指摘する設問では、市の平均正答率より8ポイント下回った。</p>	<p>・映像資料を活用して体験が難しいものを補ったり、学習内容と身近な生活との関連を図ったりして、実感を伴った理解ができるようにしていく。</p> <p>・実験や観察の結果から考えられることを、個々に記述し全体で共有する活動を丁寧に行うことで、科学的な言葉や概念を使用して説明する力の向上を図っていく。</p>

宇都宮市立清原東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・「言葉による見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫	・習得・活用・探究という学びの過程で働かせる「見方・考え方」の明確化 ・「見方・考え方」をどのように働かせるかを意識した授業の実践	・登場人物の様子について、描写を基に捉えたり、叙述を基に文章の内容を捉えたりする問題では、市の平均正答率を上回っている。 ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる問題では、市の平均正答率を下回っている。
・自分の考えを整理しながら書いたり説明したりする力を育てるための指導の工夫	・根拠や筋道を明確にして自分の考えを書く指導の充実 ・一人一台端末を活用した表現活動(言語活動)の工夫	・指定された長さで文章を書いたり、自分の意見とその理由を明確にして文章を書く問題では、いずれも市の平均正答率を上回っている。 ・段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いたり、予想される反論とそれに対する意見を書いたりする問題では、市の平均正答率を下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- 文章全体の構成を捉える力の育成
 - ・文章のまとまりや、段落相互の関係性に着目した指導を行い、文章全体の構成を理解させる。
 - ・文章を要約したり、順序を考えて文章を書いたりすることで、文章の大意を読み取ったり、一貫した文章を構成したりする力を養う。
- 情報と情報との関係について理解し、情報を整理する力の育成
 - ・一人一台端末を活用した協働学習を実践し、対話的な学び合いを通して、情報を共有したり整理したりする力を育成する。
 - ・新聞を活用した授業を実践することで、情報を分かりやすく伝える方法や手段についての理解を深める。